

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] ロボット支援下 S 状結腸・直腸切除術における外側アプローチ(Lateral to Medial approach)の有用性：内臓脂肪面積（VFA）に着目した手技時間に関する後方視的検討

[研究責任者] 外科 医師 大石 海道

[研究の背景]

当科では、S 状結腸癌および直腸癌のロボット手術において、「外側アプローチ」という手術手順を用いています。一般的に内臓脂肪が多いと手術は難しくなりますが、この手法ではロボットの性能を活かして、体型による影響を最小限にして、安全に行える可能性があります。

[研究の目的]

本研究は、手術記録や CT 画像から、内臓脂肪の量と手術にかかった時間を分析し、体型に関わらず本手法が安全かつ効率的かを確かめることを目的としています。この研究成果により、今後の患者さんへより安全で負担の少ない最適な手術の提供を目指します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

大腸癌の患者さんで、2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日の間に、長崎医療センターでロボット支援下 S 状結腸・直腸癌手術を受けた方。

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2028 年 5 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：該当なし

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、手術情報(術式、手術時間、出血量、術中合併症の有無)、術後在院日数、術後合併症。

画像情報：CT（内臓脂肪面積）

●検体や情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

#### [個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

#### [問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

外科 医師 大石 海道

電話番号：0957-52-3121（代表）